

2024年7月31日

各位

株式会社三井住友銀行

アピ株式会社に「SDGs推進支援融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、アピ株式会社（代表取締役社長：野々垣 孝彦）に「SDGs推進支援融資」を実施いたしました。

「SDGs推進支援融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取り組み状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取り組み推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、アピ株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 安全で質の高い健康補助食品や医薬品の供給による健康社会実現への貢献
- ② ポリネーション事業による農業生産者や養蜂家の支援

目標 3 すべての人に 健康と福祉を	3.8 すべての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する。
目標 2 飢餓を ゼロに	2.3 2030年までに、土地、その他の生産資源や、投入財、知識、金融サービス、市場及び高付加価値化や非農業雇用の機会への確実かつ平等なアクセスの確保などを通じて、女性、先住民、家族農家、牧畜民及び漁業者をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増させる。

- ③ SDGs を背景にプラントベース食品向け原料開発など多様な消費者ニーズに応える健康食品用原料の開発・製造、アップサイクルを通じた廃棄物削減

目標 10 人や国の不平等 をなくそう	10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。
目標 12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

三井住友銀行では、「SDGs推進支援融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上